

なでしこ新聞

NADESHIKO NEWS PAPER

医療法人 起生会
表参道 吉田病院
介護老人保健施設 なでしこ
熊本県熊本市中央区
北千反畑町2-5
<http://www.kiseikai.or.jp/>

Attention News

令和2年度の展望



医療法人起生会 理事長
吉田憲史

はじめに

昨年令和元年は平成から令和へ31年ぶりに新しい元号へと変わり、今年令和2年はオリンピックイヤーとしての輝かしいスタートとなるはずでした。それが年始め1〜2月から蔓延し始めた新型コロナウイルスの流行によって、状況が変わってしまいました。

原稿を書き始めた本日(5月3日)現在、世界的疫病(パンデミック)を引き起こした新型コロナウイルスは、南極を除く五大大陸でなお収束の兆しが見えません。コロナ戦争とも呼ばれています。昨年12月に中国の武漢で発生した感染症はわずか数か月で全世界へ拡大しました。患者数の多いアメリカ、ヨーロッパに比べて、日本は政府と専門家対策会議が中心となつて次々と感染対策を国民に呼びかけて、今のところオーバーシュート(爆発的感染)は抑えられています。然しながら全国的に発出された緊急事態宣言は、あと一か月延長されて、まだ警戒状態は続いています。特に関東、近畿円では病院や施設で集団感染事例が多数発生しており、私達医療介護従事者

は今後も緊張感を持って感染予防に努めていかなければなりません。

感染症を歴史的に見れば、約100年前に全世界に流行したスペイン風邪(現在のインフルエンザ)では全世界の死者は4000万人以上で日本でも30万人の死者が出たと言われ、全世界の死者の数は第二次世界大戦と同じ程と言われています。以来人類と病原菌やウイルスとの戦いは続き、SARS、MERS、エボラ出血熱、香港風邪などのコロナウイルスやインフルエンザの流行拡大に対して抗ウイルス薬、ワクチンを開発して戦って抑制してきました。しかしながらCOVID-19といわれる今回の新型コロナウイルスは人類の免疫がほとんどなく、現在研究開発中の薬やワクチンも普及するには少し時間がかかります。ひたすら予防し、経済活動を自粛していく方法が現在主体となっていますが、この状態が長く続けば続く程全世界(日本も含む)の社会経済活動や教育が停滞して、全ての業務に悪影響が出てくることは必至でしょう。

人類の叡智を傾けてこのパンデミックが少しでも早く終息するよう祈りながら皆様と共に努力して参ります。

医療法人起生会の今後の目標と取り組み

この「なでしこ新聞」が発刊される頃は、新型コロナウイルス感染症がどこ

まで収束しているか判りませんが、現時点では次のように考えています。

医療法人起生会が現在運営する病院、施設は次の通りです。

- 表参道吉田病院 …病床数126、職員数109
- 老人保健施設「なでしこ」…病床数62、職員数46
- グループホームここ…定員18、職員数18
- サ高住なでしこガーデン上熊本…部屋数48、職員数14

収容人数合計 254名

勤務職員数合計 187名

以上のように病院1、施設3で収容人数合計254名、勤務する職員数は187名に上ります。合計すると派遣で勤務されている方々も含めて、約500名近い人々が互いに接触しあつて仕事をして医療や介護を受けていることとなります。又、多くの外来患者様が受診されています。そこで、現時点ではまず第一に内外とも「感染症の予防」

を掲げたいと思います。おそろく終息後も社会の衛生観念も変化してきて社会活動方法も変容し、これに準じたものを基本とした生活内容になっていくと思います。

以上の観念をふまえながら医療法人起生会では現在まで約120年永続してきた地域社会に密着した医療活動をさらに積極的に続けていきたいと思っています。

内部的には、院長の将来構想にもある消化器腫瘍センターの設立準備や、免疫統合医療研究室(旧免疫医学研究室)の充実、健診センターの充実、呼吸器科・循環器科の充実、特別養護老人ホーム(社会福祉法人)の設立準備、人材の育成(医療・介護、職員の福利厚生と待遇の向上、などを目標にしたい)と思っています。

今年も地域社会の皆様、患者様、入所者の方々さらに職員の皆様の安全、安心で健勝をお祈り致します。

コロナ終息を祈って
共に頑張りましょう!



表参道吉田病院の理念

思いやりの心と
良質で安全な医療と職場を提供し
選ばれる病院をめざします。

基本方針

- ① 患者さまの人格と権利を尊重し、患者さま中心の医療を提供します。
- ② 職員はこころと技術の研鑽をつみ、良質で安全、安心な医療の提供に努めます。
- ③ 地域において、高齢者に質の高い医療とケアを展開し、他の医療機関、介護福祉施設との連携を図ります。
- ④ 予防医学から治療まで包括的な医療を提供します。
- ⑤ 健全な病院運営をめざします。

表参道 吉田病院

Yoshida hospital
NEWS

教えて、ドクター!

vol.62

表参道吉田病院名誉院長
安藤正幸



略歴

- 昭和36年／熊本大学医学部卒
- 平成4年／熊本大学医学部第一内科教授
- 平成9年4月～平成11年3月／熊本大学医学部附属病院院長
- 平成13年4月／表参道吉田病院名誉院長
日本呼吸器学会賞、国際胸部医学会日本支部賞などを受賞し、平成16年4月には熊日賞を受賞。わが国の呼吸器病学の第一人者である。

新型コロナウイルス感染症の 現状と当院の対応

はじめに

2019年12月に中国湖北省武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、韓国から日本、そして欧米へと瞬く間に流行して全世界に波及し、5月13日現在、感染者は世界全体で426万人、死者は29万人を超え、更に今も増え続けています。わが国では感染者16,045人、死者678人で、熊本県でも48名の発生、3名死亡となっており、全国に緊急事態宣言が行われ、重大な社会問題となっています。本稿では、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き(第版、2020)を参考に、最近の知見を加え概説します。

原因と感染経路

COVID-19の原因ウイルス(SARSCoV-2)は2002年に流行した重症急性呼吸器感染症(SARS)ウイルス(SARSCoV)と

臨床像

感染経路はくしゃみや咳などによる飛沫感染とウイルスに汚染された手指を介した接触感染が主ですが、エアロゾル感染も起こります。潜伏期は1～14日で、多くは暴露から4～5日で発症します。

症状は発熱(37.5℃以上)、喉の痛み、咳、痰、味覚(あじ)・嗅覚(におい)障害など通常の風邪と同じ症状で発症します。感染者の8割の人は無症状・軽症で経過し約7日で治癒しますが、残り2割の人は4日以上経過後に高熱、胸部不快感、呼吸困難などが出現し、肺炎へ進展します。さらに一部の人は重篤化して集中治療室

治療と予防

COVID-19の治療薬としてレムデシビル(エボラ出血熱治療薬)が承認され、使用可能となりました。わが国で開発されたアビガン(抗インフルエンザウイルス薬)も近日中に承認される見込み

診断は鼻腔・咽頭の分泌物からSARSCoV-2に特徴的な遺伝子を検出するPCR法により、また、SARSCoV-2に特徴的な蛋白質を検出する抗原検査法により行われます。なお、過去に感染したことがあるかどうかは抗体検査法で知ることが出来ます。

で人工呼吸器、ECMO(体外式膜型人工肺)による呼吸管理が必要となります(図)。高齢者や基礎疾患(心血管疾患、糖尿病、悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患など)を有する人は重症化し易く、死に至ることもあります。最近、軽症で基礎疾患のない患者さんが数日で急死する症例が報告され注目を浴びていますが、その原因としてサイトカインストーム(免疫システムの暴走)による血栓形成が考えられています。致死率は、インフルエンザの0.1%に対し、COVID-19では、平均3～4%と高いことが知られています。検査では、胸部CTが肺炎の診断に有効で、両側肺野にすりガラス影の散布を認めます。

図：新型コロナウイルス感染の典型的な経過



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き(第一版、2020)より

です。その他、カトレア(抗HIV薬ロピナビル/リトナビル配合剤)、オルベスコ(喘息治療薬、アムテムラ(抗IL-6剤)などの治療が行われています。また、COVID-19から回復した患者の血漿を用いた治療法が有効との報告もあります。

飛沫感染予防には人との距離を2m(社会的距離)以上に保ち、マスクを装着すること、接触感染予防には手洗いとエタノールによる手指消毒が有効です。密閉、密集、密接を避けSARSCoV-2に感染しないように努めることが大切です。ワクチンは世界各国で開発中で、やがて実用に供されるでしょう。

COVID-19に対する 当院の対応

最近、院内感染の事例が多発しています。当院では全職員を対象にCOVID-19に対する研修会を行い、職員の知識の向上を図るとともに、院長のリーダーシップの下に新型コロナウイルス対策チームが中心となって感染防御対策を行っています。当院に出入りする全ての人にマスク装着・体温測定・エタノールによる手指消毒の徹底を行うとともに、有熱者は発熱外来で胸部CT撮影を行い肺炎の早期発見に努め、COVID-19の疑いのある人は保健所に連絡してPCR検査を勧めています。抗原検査キットが入手できるようになれば当院でも検査することになります。また、入院患者さんの安全を図るために、家族の面会を禁止しています。その他、医療機器や人が接触する椅子や手すりなどの消毒を行い、接触感染の阻止に努めています。COVID-19の終息にはまだ先が見えない状態ですが、職員一同ワンチームとなつてこの難局を乗り切りたいと思っています。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



新人紹介

今年度から一緒に働くことになった
新人さん達をご紹介します！



潮崎 友香 一般病棟(7F)・看護師

急性期病院に1年間に在籍していました。看護師2年目で慣れない点や勉強不足な面が多々ありご迷惑をお掛けするかとありますが、1つひとつ学んで患者さんに寄り添える看護師になれるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



小野 由香里 療養・包括病棟(6F)・ケアワーカー

患者様が地域に戻られてからも、自分が望む「その人らしい暮らし」を実現するために何が必要なのかを、寄り添いながら一緒に考え支援できるソーシャルワーカーになりたいです。



福田 朋子 一般病棟(7F)・看護師

今年から、看護師として働き始められることに緊張と嬉しさで胸がいっぱいです。

私は、ここで丁寧な看護を行っていきたくて考えています。丁寧な看護とは、日々の業務に追われている時でも患者様とのコミュニケーションを忘れないということです。それには速く、的確な看護援助が必要不可欠です。そのため、日々の学びを深め実践し経験を積んでいきたいです。どうぞ宜しくお願い致します。



上村 美咲 療養・包括病棟(6F)・准看護師

熊本中央高等学校から来ました。現在、療養病棟に配属しています。新卒で、慣れない事ばかりで、迷惑をかけてしまっていますが、日々切磋琢磨して、早く仕事を覚え皆さんに役立つよう、頑張りたいと思います。なにとぞ、よろしくお願い致します。



高崎 美紀 一般病棟(7F)・看護師

一般病棟での勤務は初めてになります。ご迷惑をおかけ致しますが、よろしくお願い致します。スパイスカレーにはまっています。おいしいお店おしえて下さい!!



三橋 史香 診療情報管理室

診療情報管理士という職種は、患者さんと直接接する機会はあまりありませんが、DrやNsなど他の職種の方のサポートをし、貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



小浦 リリベス リクパ なでしこ入所・介護職員

私はフィリピン人です。介護の仕事はすごく大変です。利用者さんと、どうやったら信頼関係が出来るか考えながら仕事をしています。どんなキツイ仕事でも、皆さんと笑顔でお話しています。I will try to do my best!



淵上 墨輝 なでしこ入所・介護福祉士

私は高校から、大学まで福祉を学んできました。学校では学べない事、経験していない事を現場で一步一步学んでいき、少しでも利用者様やそのご家族から安心してもらえるように仕事に精進し、職員の方々からも信頼されるよう日々一分一秒無駄にせず頑張っていきたいと思っています。宜しくお願いします。

健康講演会のお知らせ

「今年度の健康講演会の開催について」

表参道吉田病院 教育研修図書チーム

昨年度は、当院主催の健康講演会にお越し下さいまして、誠にありがとうございました。

また、2月に開催を予定しておりました、第53回健康講演会「ヒートショック・心不全」につきましては、感染症予防の面からも直前の中止のご連絡となり、大変申し訳ありませんでした。

今年度の健康講演会の開催についてですが、皆様ご存じの通り、コロナウイルスで緊急事態宣言が発出されました。

皆様の健康維持に役立つ情報をお伝えすることが出来るよう、講演会を予定しておりましたが、このような状況でありますので、講演会の開催を見合わせております。

開催が出来る状況になりましたら、なでしこ新聞や院内のディスプレイ等でご案内していければと思います。

皆様、お身体に気を付けてお過ごしください。

開催を見合わせ予定の講演会

	日時	場所
第1回 「感染症予防」	令和2年6月27日(土) 14:00～15:00	碩台 コミュニティーセンター
第2回 「救急」	令和2年10月24日(土) 14:00～15:00	
第3回 「ヒートショック・心不全」	令和3年1月23日(土) 14:00～15:00	

ご不明な点がありましたら、
お問い合わせ頂ければと思います。

お問い合わせ先: **096-343-6161**

NADESHIKO INFORMATION

なでしこ広場

「表参道 吉田病院」や「介護老人保健施設 なでしこ」の様々な情報をお届けします。

コミュニケーションロボット パルロ を導入しました!



なでしこにコミュニケーションロボット「PALRO(以下 パルロ)」がやってきました。パルロは人との会話に得意な優れたコミュニケーション能力を持つロボットです。時に茶目っ気を変えながらおしゃべりする可愛いパルロは、ご利用者さまの心をギュッと掴みます。パルロは無線LANを利用してインターネットに接続し、天気・ニュースなど、インターネット上の様々な情報を利用することができます。

パルロの主な機能

レクリエーション

うた、ダンス、クイズ、ゲーム、体操、落語などを組み合わせたレクリエーションを行います。パルロがつくりだすレクの時間は、ご利用者さまが毎日楽しみながら続けられる様にレクリエーション介護士が企画し、開発を監修しています。



健康体操

介護予防効果の高い健康体操を可愛らしく指導します。全身を使った健康体操や口・肩・腰・おしりの部位ごとの体操などご利用者さまの体操活動をサポートします。多くの医療機関・研究機関によるご協力を得ながら開発を重ね、より一層、介護予防効果を高めています。



日常会話

100人以上の顔と名前を覚え、名前を呼びかけ、顔を見ながら話を行うことができます。パルロ自ら、ご利用者さまの声や姿に反応し積極的に話しかけてくれます。パルロとの会話で話がはずみ、脳が活性化され、認知症予防になることが期待されます。



〇〇さん、
こんにちは!

パルロと会話をする、ご利用者さまの笑顔が引き出され、ご利用者さま同士の会話のきっかけにもなっています。

体操ではパルロの可愛い動きに合わせて、楽しく運動することができています。また、レクリエーションや歌に合わせて歌ったり踊ったりする中で、施設全体の雰囲気が明るくなっています。今後もパルロを積極的に活用していき、ご利用者さまが楽しく元気に過ごせるよう努めてまいります。

(なでしこ リハビリテーション科 田代)

「なでしこ夏祭り」開催延期のお知らせ

8月に開催を予定していましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため延期いたします。お越しくださる皆様が、安全にそして安心して楽しんで頂ける様に、開催時期を検討いたしたいと思います。皆様も用心されて、お体ご自愛ください。笑顔でお会いできるのを祈念いたしております。



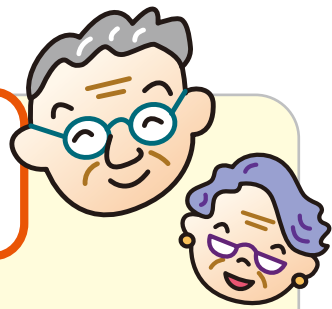
また笑顔で
お会いしましょう!

(なでしこ夏祭り実行委員会)

介護保険で何が利用できるの？

【特定福祉用具販売について】

居宅介護支援事業所 なでしこ
渡邊 恭子



今回は、介護保険サービスの『特定福祉用具販売』についてご案内いたします。

特定福祉用具販売

特定福祉用具販売は、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、福祉用具販売の指定を受けた事業所が、入浴や排泄といった直接身体に密着させるようなレンタルになじまない用具を販売します。福祉用具を利用することで日常生活上の便宜を図り家族の介護負担の軽減なども図ります。

*このサービスは、一年間(4月～翌3月まで)に10万円が限度支給額になります。個人の負担割合に応じ1割から3割の自己負担が必要です。

基本的に同一種目商品の購入はできません。

福祉用具販売の指定を受けた事業所については、担当のケアマネージャー、高齢者支援センターささえりあ、各区役所福祉課でご相談ください。

福祉用具販売の対象は、下記の5品目です

① 腰掛け便座

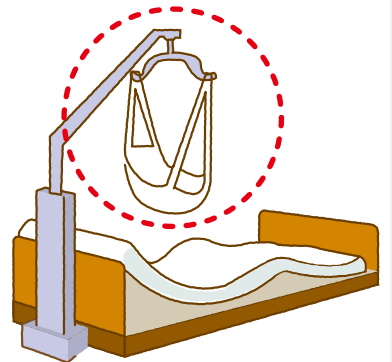
- ポータブルトイレ
- 洋式便器の高さを補うもの
- 据置式便座



③ 特殊尿器

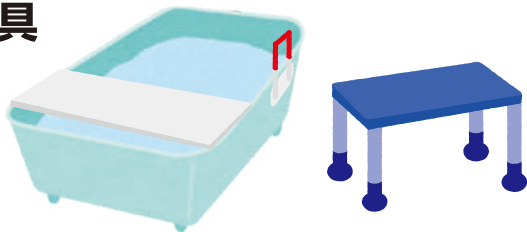


⑤ 移動用リフトの つり具の部分



② 入浴補助用具

- バスボード
- 浴槽内いす
- 浴槽手すり
- シャワーチェア



④ 簡易浴槽



お気軽にご相談ください!

興味があれば、何か疑問に思われる事がございましたら、
居宅介護支援事業所 なでしこまで、ご連絡ください。

tel 096-343-7458

vol.16

部署紹介

各部署で活躍するスタッフや日々の業務をご紹介します!

グループホームここ

今回は「グループホームここ」をご紹介します!



こんにちは!私達、グループホームここは2ユニットで構成された、定員18名の地域密着型認知症生活対応の介護施設です。

スタッフ15名でケアにあたっており、毎日、体操・レクリエーションを行い、好きな時間を過ごしていただいたり、洗濯物畳み・台拭き・衛生面、安全面に注意しながら煮物に使う野菜切り等、ご入居者様おひとりおひとりに出来る事を役割をもって行っていただき、自信をもって生活出来るよう支援しています。また、塗り絵、ゴミ箱折り、折り紙等、スタッフと一緒に会話しながら行う事で、笑顔が増え、穏やかな日々を送ってられます。

レクリエーションでは、毎月お花見や敬老会・クリスマス会などのイベントをスタッフ皆で企画しています。又、行事食もスタッフ手作りでっており、毎回超豪華なお食事?で、3月の行事食は、雛ずし会席を行い、ちらし寿し・煮魚・茶わん蒸し・ハマグリの吸い物・桜饅頭・ひなあられでした。ご入居者の皆様には好評で、ほとんどの方が全量召し上がってられました。

ふだんの献立もスタッフがメニューを考えて調理を行っており、笑顔で美味しい!と最後まで食べて頂いた時には、とてもやり甲斐を感じています。

各ユニットのスタッフがご入居者様それぞれの個性を活かしながら、笑顔がひとつでも増えるよう頑張っています。現在、コロナウイルス対策の為、面

会や外出が出来ない状況ですが、天気の良い日はベランダで日光浴を楽しんだり、ご家族様にお便りや写真をお送りし、繋がりを大切にしていこう支援を行っています。

グループホームここは、ご入居者様が住み馴れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう支援し、心に寄り添うケアを目指してまいります。



皆さまにご好評だった
3月の雛ずし会席!



(グループホームここ 竹内)

介護の知恵袋



介護老人保健施設
なでしこ

NADESHIKO
NEWS

高齢者の皆様が

新型コロナウイルスの感染を防ぎ 心身の健康を守るために

いまだに全国に猛威をふるっている新型コロナウイルス。その新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、正しい手洗いや咳エチケットなどが重要です。特に高齢者や基礎疾患のある方は重症化しやすいため、3つの「密」を避け、手洗い・咳エチケットを徹底しましょう。

3つの「密」を避けましょう!

① 密閉空間



換気の悪い密閉空間

② 密集場所



多数が集まる密集場所

③ 密接場面



間近で会話や発声をする密接場面

～そのほかに気をつけること～

◎ 食生活・口腔ケアをしっかりと

低栄養を予防し、免疫力を低下させないために、しっかり栄養をとることやお口の健康を保つことが大切です。

- 三食欠かさずバランスよく食べて、規則正しい生活を心がける。

- 毎食後、寝る前に歯磨きをする。



- しっかり噛んで食べる、一人で歌の練習をする、早口ことばを言うなど、お口周りの筋肉を保つ。



◎ 人との交流を

孤独を防ぎ、心身の健康を保つために、人との交流や助け合いが大切です。

- 家族や友人と電話で話す。
- 家族や友人と手紙やメールなどを活用し交流する。
- 買い物や移動など困ったときに助けを呼べる相手を考えておく。



ストレスを溜め込まないようにしましょう!



入所トピックス

『Everydayなでしこ!』

突然ですが…毎日どうお過ごしですか?今年は新型コロナの影響で、私達スタッフも楽しみにしていたお花見は、残念ながら中止となってしまいました。それだけではなく、面会も出来ない状況の中でご家族に会えない淋しさを、皆様口々におっしゃっております。ご家族様には来所して頂いた際に、皆様の動画や写真をご覧になっていただいております。

そんな中、なでしこではご利用者の皆様の笑顔を守る為に、毎日いろんなことを行なっております。昔懐かしい歌を歌ったり、沢山のボールを使ってゲームをしたり、おやつを作ったり、色々な掲示物を作ったり、時には早口言葉やしりとりやクイズをして笑い合っております。

この新聞が出る頃には、新型コロナも落ち着き…

楽しい笑顔の溢れる日常がおくれている事を祈っております。



平和な日常を祈って
今を乗り越えましょう!

疫病平癒
『アマビエ』

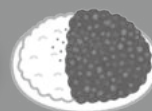


楽しく美味しい
手作りおやつ♪

(なでしこ・長山)

デイケアトピックス

キーマカレー作り



今回、なでしこ通所リハでは職員とご利用様と一緒にキーマカレーを作りました。ご利用者様の方々はさすがに包丁さばきも様になって感心させられました。私達職員もご利用様をフォローしながらスムーズに調理作業を進めていきました。

最後は、仕上げに目玉焼きをのせて皆さんと一緒にいただきました。味もなかなかの好評であちこちから美味しいとの声が聞かれました。

今後もこのようなご利用様と一緒に料理をする企画を考え実行していけたらと思いました。

仕上げに目玉焼きを
乗せて完成!



皆さんさすがの包丁さばきでした!

(なでしこ・数下)

なでしこガーデン上熊本

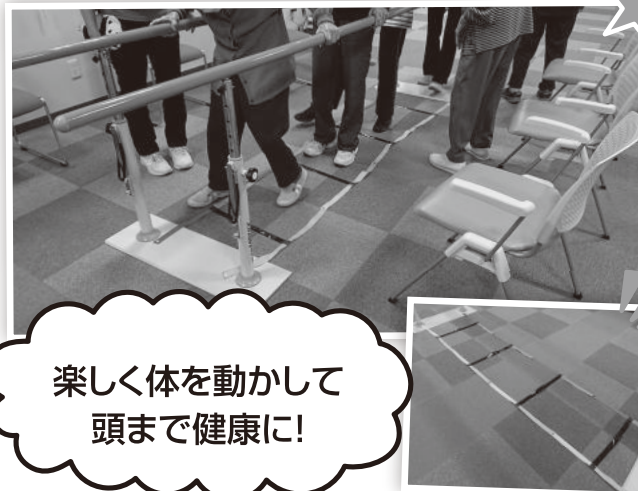
認知症トレーニング!

デイサービスかみくまでの運動は、レッドコードやマシントレーニングの他に、認知症を予防するためのトレーニングを2種類行っています。1つは、集団で輪になり、足踏みをしながらしりとりをする等をして、脳の活性化を図る“コグニサイズ”。もう1つは、赤・青・黄・緑の4色からなる“はしご(ラダー)”を使った運動を行う“4色足踏みラダー”を行っています。

コグニサイズとは、認知を表す英語「コグニクシオン」と運動を表す英語「エクササイズ」をかけた造語で、有酸素運動を中心とした運動に加えて脳にも負荷をかける課題を与えるプログラムです。4色足踏みラダーは、数字を記憶しながら足踏みをしてマス目を進み、該当の数字の箇所特別な動作を行って、脳の活性化を図ります。これは、よりバランス能力が求められて、平行棒の中で、“1, 2, 3…”と数えて考えながら足踏みをしています。

ご利用者様の中には「この運動をしたいからデイサービスに通っているのよ!」、「運動後は頭がピンピンした感じがしてとてもいい!」とおっしゃられており、とても好感触です。自宅でも簡単にできるので、ご家族で試されてみてください。とても良い運動になりますよ!

楽しく体を動かして
頭まで健康に!



(なでしこガーデン上熊本・津田)

なでしこ基本理念

個人として、家族・社会の一員として自分らしい生活を、生きがいのある生活を共に考え、共に歩んでいきたい。

※コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽取材先を変更しています。

「表参道 吉田病院・なでしこ」の周辺には、楽しいスポットがたくさん！

※今回は並木坂入口付近にある「TATOMIYA」さんをご紹介します。



おしゃれな店内に
オリジナルグッズの販売も！



おかず系も
たくさん！

こだわりのサンドイッチたち！



- ◎住所／ 熊本市中央区坪井 2丁目1-45
- ◎電話／ 096-321-6500
- ◎営業時間／ 10:00～18:00 (売り切れ次第終了)
- ◎定休日／ 火曜日
- ◎配達／ ¥5000～ 詳しくはHPをご覧ください。
ご予約や配達のご用命はお電話かメールにてお願い致します。



なでしこ その68 調査隊 ちょうさい

オーナー
宮川毅尊さん
美香さん

Sandwich cafe TATOMIYA

今回なでしこ調査隊は、並木坂入口付近にあるサンドイッチ専門店「TATOMIYA」さんにお邪魔しました。(今回はコロナウイルスの影響により、メールにて取材させていただきました。)

2016年にご夫婦でオープンされました。おふたりとも大のサンドイッチ好きでご主人の前職が青果業だったこともあり、熊本の食材をたっぷり使ったサンドイッチを作りたいと思い、開業を決意されたそうです。また、青果業時代に不揃いや傷などの理由で商品として出荷できないお野菜や果物がたくさんあることを目の当たりにし、少しでもそういった食材を減らすお手伝いができないかと考えたそうです。

「タトミヤでしかできない体験と思い出をお客様に」、そして「食品ロスに加担しない」をポリシーに、日々サンドイッチづくりに励んでいらっしゃいます。「どこから食べたらいいの」と思ってしまうほどたっぷり野菜を挟んだサンドイッチや、「注文するのが少し恥ずかしくなってしまうようなネーミングのサンドイッチ」など、お客様には味も見た目も体験も全て「タトミヤ思い出」にして頂きたいそうです。食材の仕入れはご主人が市場に出向き、ご自身の目と舌で厳選した食材をメインに使用されています。「情熱を持ってサンドイッチを作り、これからも

様々なシーンでお客様に「タトミヤ体験」を楽しんで頂きたい」と述べられています。

人気商品は、季節限定のフルーツサンドやおかず系のサンドイッチということでした。タトミヤのサンドイッチで熊本の旬を感じて頂きたいそうで、オープン当初から期間限定サンドイッチは必ず季節ごとに開発されています。

コロナウイルスの影響で、現在店内イートインはお休みされていますが、テイクアウトは通常通り営業されています。今回テイクアウトでサンドイッチは「TATOMIYA LBT」と「カレー鯖サンド」、期間限定の「めろめろメロン」、飲み物は「マンゴー&パイナップルスムージー」と期間限定の「いちごミルクスムージー」をいただきました。LBTは新鮮野菜のシャキッと感とボリューム感で満足できました。カレー鯖サンドはレモンがアクセントで効いていて、めろめろメロンのメロンは大きくてみずみずしかったです。マンゴー&パイナップルスムージーは甘味と酸味のバランスが良く爽やかな味わい、いちごミルクスムージーはほどよい甘さでした。どれもとてもおいしく、見た目も色鮮やかで綺麗でした。ぜひ皆さんもタトミヤ体験をしに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

(病院・小川 / 中川)

スマイルクラブ

スマイルクラブとは、なでしこ・デイサービスこ・こで
イキイキと活動されているご利用者の紹介コーナーです。



今回は、なでしこ通所リハをご利用の
『田代 雪子 様』をご紹介します。

料理を家族に「おいしい」と 食べてもらうことが喜び!!

田代さまは毎週水曜日と土曜日で利用中です。同じ曜日のご利用者の方々とは、どなたとも分け隔て無く交流を持たれ、私たち職員に対しても敬意を持って接して下さいます。さらに、田代さまは字も達筆で特に書道は写真のように綺麗な字を書かれます。

また、趣味は料理を作ることとお聞きしました。なんでも味うんぬんよりもとにかく作ることが大好きということだそうです。田代さまが作ったお料理を、ご家族が「おいしい。おいしい。」と言って食べる姿を見るのがお好きとのことでした。

この記事の掲載のお話をもっていった時は「冥土のみやげに…」と言われていましたが、まだまだ十分お若いですよ! 私たちも田代さまからはたくさん元気や励ましの言葉をいただいております。リハビリも日々がんばっておられ、送迎の帰り際にはいつも「今日は楽しかったです」とおっしゃってくださいます。

以上、「田代雪子」さまのご紹介でした。



(なでしこ・数下)

編集室から

次号(70号)の発行は2020年8月を予定しております。お楽しみに!

当新聞の校正、編集におきまして個人情報の保護に注意を払いながら作成しております。構成上、写真等を掲載する場合がございます。特定の個人を識別できる情報や写真の掲載に関しましては、あらかじめ本人様又はご家族等の同意を頂いております。尚、新聞記事又は個人情報に関するご意見・ご感想がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。